

# 第1期14棟が契約済みに 18棟のうち

## ポラスG 浦和美園 E-フォレスト コネクテッドサイト 中央住宅

ポラスグループ中央住宅が指定した「次世代住宅」は、全33棟の「浦和美園E-フォレスト コネクテッドサイト」の第1期14棟を1月12日から、4棟を1月18日から販売開始、2月12日現在で14棟が成約となっている。3棟が抽選になり、人気の高い1棟は3倍になるなど好調な出だしとなっている。

2016年に始まった「浦和美園 E-フォレスト」シリーズは、国の「地域活性化総合特区」制度に認定され、さいたま市が指定した「次世代住宅」である浦和美園地区において、埼玉県志企業である中央住宅、アキュラホーム、高砂建設の3社共同で開発した分譲地である。

その第2弾として、全45棟のうち33棟を「浦和美園E-フォレスト コネクテッドサイト」として、中央住宅が分譲する。「浦和美園E-フォレスト コネクテッドサイト」は、電力融通と電力識別を自動で行うシステム「Bitie」と基礎断熱工法により、HEAT20さいたま版グレード2に適合した住宅を実現。冬暖房を使わずとも室温がおおむね15℃を保ち、13℃を下回らない設計で、省エネだけでなく、住まい手の健康にも配慮した暮らしを提案している。

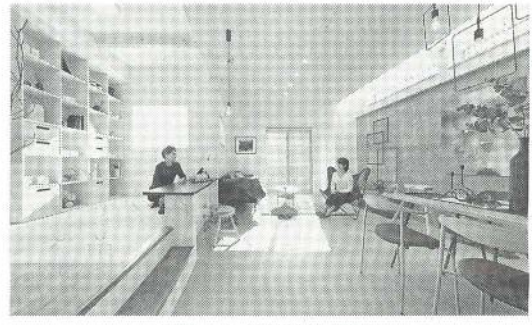
住まいについては、太陽光発電、ハイブリッド給湯・暖房システム、HEMSなど先進の省エネ・創エネ設備を搭載している。さらに、ポラスオリジナルの桁間天井断熱工法「Bitie」と基礎断熱工法により、HEAT20さいたま版グレード2に適合した住宅を実現。冬暖房を使わずとも室温がおおむね15℃を保ち、13℃を下回らない設計で、省エネだけでなく、住まい手の健康にも配慮した暮らしを提案している。

住まいについては、太陽光発電、ハイブリッド給湯・暖房システム、HEMSなど先進の省エネ・創エネ設備を搭載している。さらに、ポラスオリジナルの桁間天井断熱工法「Bitie」と基礎断熱工法により、HEAT20さいたま版グレード2に適合した住宅を実現。冬暖房を使わずとも室温がおおむね15℃を保ち、13℃を下回らない設計で、省エネだけでなく、住まい手の健康にも配慮した暮らしを提案している。

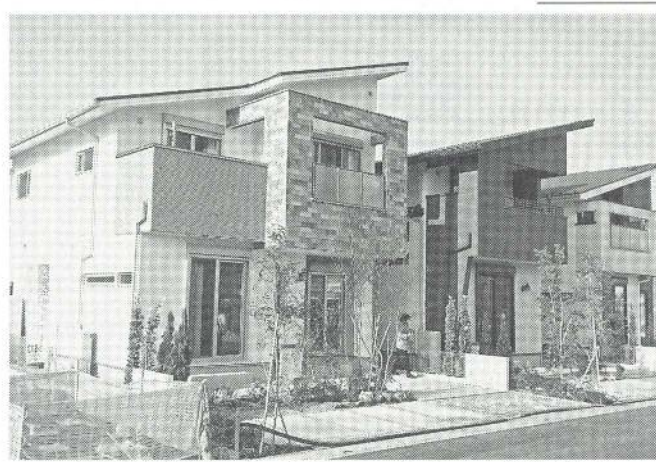
①木のぬくもりと爽快感に癒される「森の家」スタイルの家族がつながるキッチンスタジオがある「スタジオハウス」スタイル③素材の融合を象徴する響く家の「アートの家」スタイル。

分譲地では、これらのスタイルのモデルハウスが3棟オープンしている。ポラスグループの戸建分譲では、モデルハウスを見学することで決断を早める人が多い。今回の3つのいずれのスタイルも注文住宅のレベル

物件概要  
所在地 さいたま市計  
画事業浦和美園第1特定区画整理事業57街区42-1、42-2画地  
(保留地)  
他、交通 埼玉高速鉄道浦和美園駅徒歩5分、販売時期 第1期1次2019年



「アートの家」の室内



「浦和美園E-フォレスト コネクテッドサイト」の3棟のモデルハウス

1月12日・14棟、2次1月18日4棟、第2期4月中旬予定15棟、販売価格 4780万円～5680万円(税込)(第1期、敷地面積 150.00㎡～184.51㎡(第1期)、建物面積 95.43㎡～111.58㎡(第1期)、間取り 3LDK+階段差畳コーナー+パントリー+ドレスルーム(4)(5)LDK+パントリー+土間収納+ウォークインクローゼット(第1期)

# 日本初の「DGR」を導入

## ポラスグループ 中央住宅 浦和美園で戸建分譲 住戸間で電力を融通

第1期発売 好調な出だし

ポラスグループの中央住宅は、さいたま市において全33棟の「浦和美園E-フォレスト コネクテッドサイト」の第1期(1次14棟、2次4棟)の販売を1月12日から開始、2月12日現在で14棟の成約となるなど好調な出だしとなっている。14

棟のうち3棟が抽選になり、最も人気の1棟は3倍になっている。同分譲地には日本初のDGR(デジタルグリッド)による「次世代型電力コミュニティ」を導入している。DGRは電力融通と電力識別を自動で行うシステムである。

埼玉高速鉄道「浦和美園」駅から徒歩5分と近い。さらに浦和美園駅が始発ということも決め手になっている。

3棟オープンモデルハウスを見学することで決めたという人も多いようだ。ポラスグループによる「次世代型電力コミュニティ」を導入している。さらに、ポラスオリジナルの桁間天井断熱工法「Bitie」と基礎断熱工法により、HEAT20さいたま版グレード2に適合した住宅を実現。冬暖房を使わずとも室温がおおむね15℃を保ち、13℃を下回らない設計で、省エネだけでなく、住まい手の健康にも配慮した暮らしを提案している。

棟のうち3棟が抽選になり、最も人気の1棟は3倍になっている。同分譲地には日本初のDGR(デジタルグリッド)による「次世代型電力コミュニティ」を導入している。DGRは電力融通と電力識別を自動で行うシステムである。

埼玉高速鉄道「浦和美園」駅から徒歩5分と近い。さらに浦和美園駅が始発ということも決め手になっている。

3棟オープンモデルハウスを見学することで決めたという人も多いようだ。ポラスグループによる「次世代型電力コミュニティ」を導入している。さらに、ポラスオリジナルの桁間天井断熱工法「Bitie」と基礎断熱工法により、HEAT20さいたま版グレード2に適合した住宅を実現。冬暖房を使わずとも室温がおおむね15℃を保ち、13℃を下回らない設計で、省エネだけでなく、住まい手の健康にも配慮した暮らしを提案している。

カコミュニティ」を導入している。これにより家と家間で電力を融通する。3棟には太陽光発電システム(PV)、蓄電池、DGRが導入されている。住宅に導入の蓄電池の残量を自動的に把握し、残量に応じてPVの電力を住宅間で融通する。

家とコンビニも 家とコンビニ、イオンモールとコンビニ間で、PVの電力を融通する。ただし、実証実験のため実際の金銭のやり取りはなく、仮想の取引となる。